



相模国分寺跡隣接地の高層マンション建設について

いちごの会 田中 ひろこ



緑の基本計画

問 相模国分寺跡に隣接するマンション建設予定地を、公共用地先行取得事業債を活用して購入することについて伺います。この事業債を活用して市役所西側の催事広場の一部を購入するため、12月議会に新たな特別会計条例案と購入費の補正予算が提案されました。その常任委員会の審査の中で、催事広場購入後の計画は10年以内に策定すると言いながら、マンション予定地の購入は「購入後の公共施設の建設予定がないのでこの特別会計の活用は難しい」との答弁に矛盾を感じていますが、この点について伺います。

答 (財務部長) : この事業債を活用するには、将来公共用地などに利用する計画に基づいて用地特別会計で取得することが条件になっています。催事広場は、市の緑の基本計画の中で中部地区公園としての位置付けがされています。さらに広場には年間3600万円ほどの借地料を支払っており、借地を解消したいという目的もあります。

問 催事広場を中部地区公園にする予定ですが確定している訳ではなく、10年で事業を計画していくと委員会で答弁しています。マンション予定地には、児童遊園や広域避難場所の拡大などの要望が陳情として出ていますので、その事業計画を市が考えていけば、特別会計で購入できるのではないかと思っていますが、可能なのかお聞きします。

答 (財務部長) : 用地特別会計での土地取得は、市に事業の計画があれば可能と考えています。催事広場は、市役所周辺で土地開発が進んでいくエリアにおける大規模で貴重な空地であり、マンション予定地とは状況が違うことをご理解いただければと思います。

- ・增加する不登校対策と子どもの居場所づくりについて
- その他質問



民間保育園、幼稚園の通園バスの安全管理について

立民 黒田 ミホ

問 静岡県において3歳の女の子が通園バスの車内に置き去りにされ熱中症で亡くなるという大変痛ましい事故が起きました。市内の幼稚園や認定こども園などの保育施設において通園バスの安全管理・事故防止の観点から、市としてどのような対策を行っているか伺います。

答 (保健福祉部次長) : 市内各園の通園バスの利用状況や安全確認方法などについてアンケートおよび実地での調査を行い、全ての園において高い意識で安全確保の取り組みがなされていることを確認しました。

問 安全管理マニュアルの整備が不十分な施設に対し、どのような安全管理の徹底を求めていくか伺います。

答 (保健福祉部次長) : マニュアルがない園についてもチエックリストなどは作成されており毎日のチェックが確實に行われていましたが、最終的には全園でマニュアルという形で整備されるべきと考えています。

問 現状ではどこまで安全装置の設置が進んでいるのか、今後いつまでに完全実施が実現する見通しか伺います。

答 (保健福祉部次長) : 国からは子どものバス送迎・安全徹底プランにおいて、安全装置の装備の義務づけに係る関係省令などを令和4年12月に公布、令和5年4月から施行し、施行から1年間は経過措置を設ける予定であるという事務連絡があり、早期に対応するよう各園と協議しながら安全装置の装備を促進してきます。

問 今後、行政としてどのような形で民間の保育施設や幼稚園に関わっていくのか、現状を確認して改善策を徹底させていくか伺います。

答 (保健福祉部次長) : アンケートおよび実地での調査で確認した安全確保の取り組みを継続するには、市側からも一定のチェックを行っていく必要があると考えますので、どのような形で行うか園と協力しながら検討を進めていきます。



史跡相模国分寺跡の隣地14階建てマンション建設問題について

無会派 三宅 紀昭

問 マンション建設設計画見直しなど、団体から陳情書が3件出されており、そのほかにも市民有志の会から市長あてに申し入れ書が提出されています。また、東京新聞、読売新聞、朝日新聞、神奈川新聞などで取り上げられているのは、注目度が高いということの裏付けとも言えます。過去に市が特集されたテレビ放送でも、市の商業施設などとともに相模国分寺跡や中央公園にある相模国分寺の象徴である七重の塔のモニュメントが取り上げられるなど、市の重要な史跡公園として認識されていると考えられます。

報道などで市長の考えについては拝見、拝聴していますが、あらためて考えを伺います。

また、同史跡は海老名市広域避難場所に指定されていますが、大震災による避難の際、その隣地に高層建築物がある場合の危険性について伺います。

答 (市長) : 計画地は現在、更地になっていて、今後、発掘調査が始まる予定です。また、周辺住民から住みよいまちづくり条例に基づく指導または助言を求める申し出書が提出されました。条例に基づき都市計画審議会に対して意見聴取を行い、その意見を踏まえ、私自らが事業者の本社を訪問して助言を行いました。

答 (危機管理担当部長) : 市内19カ所の広域避難場所のうち3番目に広い面積を有し、収容人員は周囲の市街状況から離隔距離を勘案し算定しています。このような現状を建設予定の高層建築物に照らし合わせても、地震などの災害時における広域避難場所として有効と考えています。

- ・公共施設附帯駐車場有料化後の状況について
- ・海老名市の新型コロナウイルス対応について
- その他質問



広域避難場所